

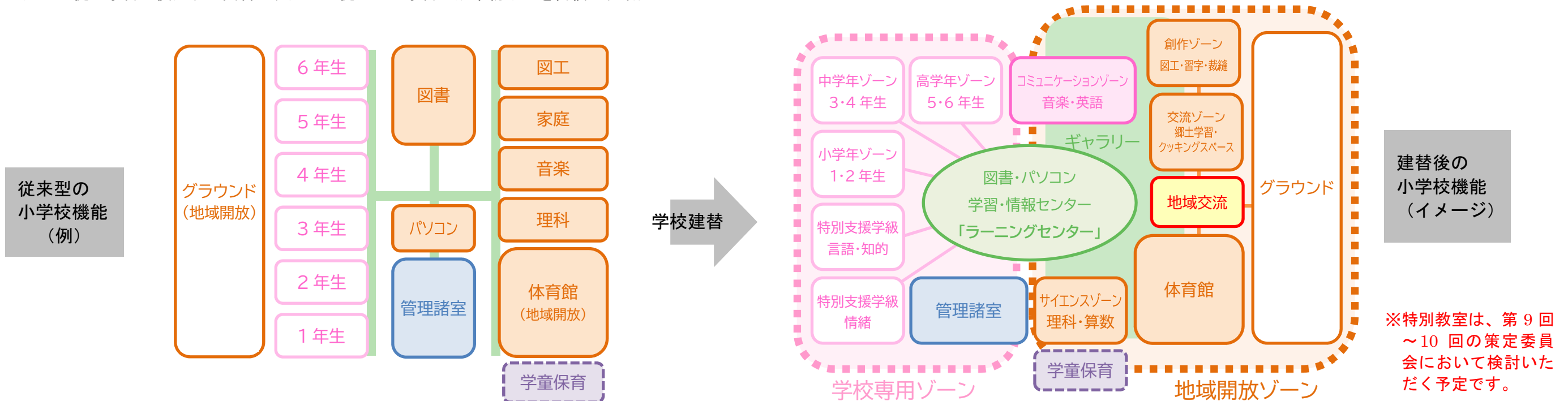
学校施設の機能構成イメージ（案）

○これまでの学校施設は、鉄筋コンクリート造校舎の標準設計等を踏まえ、普通教室や特別教室を単純に配置した片廊下型の画一的な学校施設の機能構成となっています。

○これからの学校施設は、様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動が展開できる機能構成に見直していく必要があると考えています。

○児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与する学習・情報センター『ラーニングセンター』を学校の中心に検討します。

- 考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりするスペース
- 教室での授業で学んだことを確かめ、広げ、深める、資料を集めて、読み取り、自分の考えをまとめて発表するなど、児童生徒の主体的な学習活動を支援できるスペース
- 図書や新聞、インターネット等のデジタル情報など多様なメディアを提供して、資料の探し方・集め方・選び方や記録の取り方、比較検討、情報のまとめ方等を学ばせる授業の展開に寄与するスペース
- 児童生徒が学習に使用する資料や、児童生徒による学習の成果物などを蓄積し、活用できるスペース



- 自由度が高く柔軟性のある学習空間を想定し、『ラーニングセンター』を学校施設の中心に配置し、ラーニングセンターを取り囲むように各学年ゾーン、特別教室ゾーン等がつながる機能連携を検討します。
- ラーニングセンター、特別教室ゾーン、グラウンド等は地域開放を検討し、地域とのつながりを促進します。

